

案

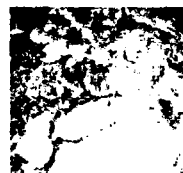
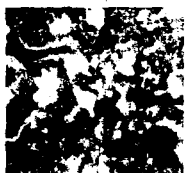
陣内秀信先生とご一緒に…

ぶらり法末・花の旅



中越地震の被災以来、私たちが応援してきた法末集落には、今年も、それぞれの庭や集落のシンボルゾーンに、美しい花が咲き誇る季節がやってきました♪♪♪

数百年前に建てられ、いまなお住み続けられている中門造りの家々の庭をめぐりながら、「花と古民家」の集落を満喫し、ていねいに栽培された野菜を賞味する「法末花の旅！」…今年も特別ゲストとして、法政大学教授・陣内秀信先生をお招きしました。「ブラタモリ」でおなじみの陣内先生に法末集落を「ぶらぶら」していただきながら、集落の景観や世界の花の集落、グリーンツーリズムの動向などについてお話していただきます。



ユキワリソウの季節は4月です…

みなさま、どうぞ一緒に！

■日程：2012年7月21日（土）、22日（日）

■プログラム：

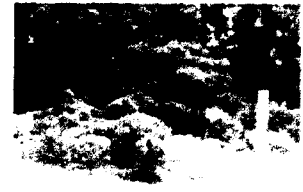
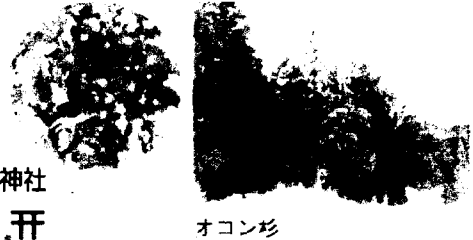
- 21日 朝、バスで東京発（JR四谷駅付近集合予定）小千谷付近にて昼食（ヘギそば！）
午後2時ごろ法末自然の家やまびこ着 午後集落散策（ガイド付き）夜懇親 やまびこ泊
- 22日 午前 陣内先生と集落散策 午後陣内先生講演 終了後法末発、帰京

■費用：

- ・参加費：UIFA JAPON メンバー、PA関係者…5,000円、一般…6,000円
- ・法末自然の家やまびこ宿泊費（一泊二食）6,000円程度
- ・1日目、2日目の昼食代 2,000円程度
- ・野菜購入費（とびきりおいしくて新鮮な集落の自家用野菜が購入できます）



かんべいもち
至小千谷 (遠見峠)
至小千谷 (真人)



長岡市指定天然記念物
おっこう
N

ころうさく
法末神社



へいはちもち
大池 いしい しんきよ

キャンプ場
あたご荘

かんべい
たえんどの (小国八景)
いもち
ぶな林
丑松洞門

へいはち きのすけ
くら

みずかみ

だいこんばたけ
やまびこ

いへのせみ

たなか

ちょうじろう
さんたろう
まじま
しょうくろう

へんなか
ファエ
旧ほろえんどん

じんばち
みやした
まつか

やはち

さとみや

まへい

くだい おくしち

ぎぜんどん
しんねん

とくえん

じんざいん

そうせん

あねっこ

ぶうえん

へいぜん

おもや

宇井

もとえん るくべい

おおした

ろくろうべえ

にぜんどん

りぜん

きゅうばち

はんぜん

うちやま

ぶへどん

たえんどん

いちえん

おおばやし

オープンガーデンは、集落の住み手それぞれが丹精したお庭を、来訪者に公開し、楽しませてくれるものです。訪ねるほうも、迎えるほうもお互いに楽しく、気持ちよく交流できるような心がけましょう。
看板をよくみて、開いているお庭を、開いている時間帯に訪問しましょう。プライベートゾーンへの立ち入りは慎みましょう。
「とっていい」のは、写真だけです。
ごみは持ち帰りましょう

- 集落一望ゆきわりそうコース
- 集落一周ほたるコース
- 2010(平成22)年度オープンガーデン参加団体 へんなかファエ(ビジターセンター) 運が良いとお茶をいただける
- ▲ 山野草の植えこみゾーン
- ▲ 天体観測小屋
- ▲ 足湯
- ▲ 地域の宝館
- 集落案内看板
- ▲ 法末自然の家やまびこ
- ▲ 消防小屋
- ▲ 駐車場
- ▲ 公民館
- ▲ 集落管理センター
- ▲ 共同車庫

*AやBは、(財)新潟県中越入道環境財団「お庭デザイン」先導事業。の支援による整備

至小千谷 (大船丸)

15分歩くと
山野草館

集落のみなさんへ
復興先導事業講演会のお知らせ

全員集合!

平成20年11月
集落総代 内山 昭平

「山野草を取り入れた集落おこし

——おもてなしの庭づくりと四季の花を楽しむ仕掛け——

講師 雪国植物園園長 大原久治氏

「オープンガーデン事業」の第2弾として、
今回は花による集落おこしをテーマに講演会を
開き、ゆきわり草の育て方や美しい庭の魅力な
ど、「花の集落」についてお話をさせていただくこと
になりました。

全員で集まって楽しくお話を伺いましょう!!

事業の一環としてのシンボルゾーンへの花の植付けは、11
月1日、みなさんの協力で無事終了しました。法末から全国に
向けて「花の集落」の情報を発信できるよう育てていきましょ
う!

記

日時 11月24日(祝・月) 13:00~15:00 (12:30 受付開始)
プログラム 13:00 開会あいさつ
13:15 講演
14:45 オープンガーデン看板デザイン経過披露
15:00 閉会

会場 法末自然の家 やまびこ 2階 (長岡市小国町法末)
主催 法末集落
協力 中越震災復興プランニングエイド、ユイファ ジャポン

講師紹介

大原 久治 氏

長岡市出身。「にいがた観光カリスマ」の一人で、長岡市において「雪
国植物園」の園長、新潟県雪割草愛好団体連合会会長を務められるとと
もに、花をテーマとしたまちづくり、観光地づくりに貢献していらっし
やいます。

著作 『雪国植物園の花々二百選』(社)平成令終会、2003 ほか

②講演会ちらし (2種類:AとB)

「大地の声に耳を傾ける一庭づくりと集落の復興」; 上山良子氏

法末集落復興先導事業「オープンガーデン」講演会 ②のお知らせ



法末集落では、オープンガーデン事業も着々と進み、3月の雷わり草の開花も楽しみなこのごろです。それぞれのお庭の整備を集落全体の景観の整備とつなげ、「花のおもてなし集落」をめざす法末として、今後何をすべきか、長岡造形大学学長、上山良子先生をお迎えしてお話を伺うことになりました。

学長の語られる「愛される土地とは!」「美しい風景とは!」…私たちも「世界にたったひとつの場づくり」をめざしましょう!

当日は講演会のあとに駒沢女子大学の協力で作っていただいた「オープンガーデン看板」の納品もあります。どうぞご参加ください!

☆☆☆

講演会 : 「大地の声に耳を傾ける一庭づくりと集落の復興」

講師 : 長岡造形大学 学長 上山良子先生

主催 : 法末集落 (新潟県長岡市小国町)

日時 : 平成21年2月21日 (土) 午後2時から

会場 : 長岡市小国町法末集落「やまびこ」(法末自然の家)

プログラム : 講演会 開会・挨拶 14:00

講演 14:10~15:30

質疑応答 15:30~15:40

休憩 15:40~15:45

看板納品 15:45

デザイン披露

主旨説明など

終了 16:15ごろ

【講師プロフィール】

長岡造形大学学長、ランドスケープアーキテクト (景観デザイナー)。1970年代に米国カリフォルニア大学でランドスケープを学んだこの分野の専攻として活躍中。

日本はもとより、世界中の仕事を手がけ、数々の受賞歴がある。審議会委員、デザインコンペ審査員などを歴任。



旅の思い出を思い出し、季節の花の畑や果樹、この集落で養った鶏の姿が法末らしい。



集落全体で取り組むオープンガーデン。法末神社の参道には、福引券を販売するシンボルゾーンに仕立てた。

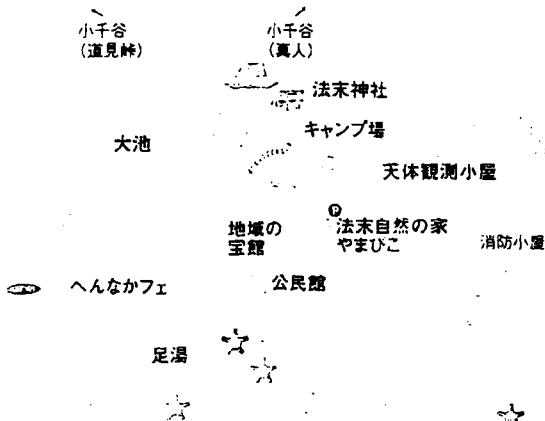
長岡市小国町

オープンガーデンの

ありのままなのが、実にいい。畑の隣に色とりどりの花が咲き、住人はそこからさつと摘んだものを仏壇に供えたりもする。法末のオープンガーデンは、集落の暮らしが垣間見える「生活の庭」。タイムイングが合えば「お茶でもどうぞ」と、もてなしも常に温かい。

美しい棚田と、かやぶきの名残の民家。地元の人々が着をもつて「ほつすえ」と呼ぶこの法末地区には、日本の原風景がある。新潟県中越地震では大被害を受けたが、住民たちはたくましかった。「多くの人に来てほしい」と、復興支援団体の協力を得て足湯や天体観測所を設置し、昨年オープンガーデンをスタート。住民の7割が高齢者だというが、とてもパワフルがぜん、応援したくなる。

多少の起伏はあるものの、集落はぐるりと歩いて気持ち



新潟県中越地震で大きな被害に遭った法末地区。

このオープンガーデンは、震災復興の一環として始まりました。畑とともにある「ありのまま」の庭を、のんびり歩いてめぐってみると？

棚田と夕日が美しい山間部。かやぶきの名残を辿る、温かい民家が所々に。足湯や天体観測、また夏にはカゲル祭りや福引券が売られる法末集落の風景。

★...オープンガーデン



1. 花咲く階段を上り、メインゾーンとなる法宗神社の参道へ。2. 古民家を利用して高層内外の人たちの出合いの場として設けられた「へんなカフェ」。ちなみに「へんなか」は地元の方言で「のり」の意味だとか。3. それぞれの庭に設置された家の形の基礎は、徳島に尽力した浪派女子連大の学生から贈られたもの。すべて異なるデザインで、庭を公開している家と、そのオープン・クローズを知らせてくれる。4. 中庭階段で大きな坂道に思い、全戸仮設住まいすること2年、54戸のうち43戸が帰村。「足元に景あり。地元の良いを見直し外部からの視点を大切にたくさんの人に足を運んでもらえるようにしたい。それを復興の理念として、オープンガーデンを始めました」と実行委員長の太橋毅さん

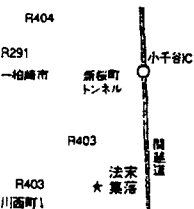
特集 オープンガーデンへようこそ。

ちのいい広さ。雪解け間もないころに訪れたら、純白のミズバショウや風に揺れるスイセン、鮮やかな黄色のレンギョウが春を知らせていた。「雪割草を植えた神社の参道がメインゾーン。集落全体を一つの景観として、数軒の発起人を中心に庭を公開しています」と実行委員長の大橋毅さん。目印は、オープン・クローズを知らせる愛らしい看板。畑と共存する素朴な眺め、あふれるほどのアジサイの庭、古い民家に調和した苔庭と、じっくり回ればそれぞれの個性も見えてとれる。

あるがまま、そのままに。住民たちの暮らしぶりに似た気取らない庭は、訪れる人を温かく迎え入れ、しみじみと味わい深い。



5. 大きく育った花キャベツや美しい咲き始めの菜の花も「平井の園」でつくりの中心は妻の義保子さんだが、「今年にはお孫さんまでが来たいわ」とご主人の夢も膨らむ。畑仕事の音にニコニコ。3. 山からの足湯「宗宗の湯」は霊山からの湧き水を利用。お湯がすく、空気に散れると赤く変色する。土・日・祝日のみオープンで、庭への入り口にある「足湯入れます」の札も確認してから向かう。7. うちのぞい、おばあちゃんが作った庭なんだよ」と大橋とよ子さん。お庭でもおもしろい音で、独特の雰囲気を持つ。空々と流るもみぢの木の向で



data
 住○長岡市小国町法末
 連絡先○Tel.0258-95-2967
 (オープンガーデン事務局・大橋)
 公開○各庭の看板で確認を
 P○あり
 HP○なし